

議 事 録

会議の名称	平成28年度 第3回 茨木市人権尊重のまちづくり審議会										
開催日時	平成29年3月16日（木） 午後7時～午後8時										
開催場所	茨木市役所南館3階 防災会議室										
会長	今西 幸蔵										
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">今西 幸蔵</td> <td style="width: 50%;">熊本 理抄</td> </tr> <tr> <td>井上 紀子</td> <td>岩本 賢三</td> </tr> <tr> <td>長田 佳久</td> <td>柴原 浩嗣</td> </tr> <tr> <td>古市 輝雄</td> <td>三木 昭</td> </tr> <tr> <td>峰 宮子</td> <td>山田 ひろ美</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(10人)</p>	今西 幸蔵	熊本 理抄	井上 紀子	岩本 賢三	長田 佳久	柴原 浩嗣	古市 輝雄	三木 昭	峰 宮子	山田 ひろ美
今西 幸蔵	熊本 理抄										
井上 紀子	岩本 賢三										
長田 佳久	柴原 浩嗣										
古市 輝雄	三木 昭										
峰 宮子	山田 ひろ美										
欠席者	石原 正浩、佐藤 早智子										
事務局職員	<p>田川市民文化部長 大神市民文化部次長兼人権・男女共生課長 大和人権・男女共生課参事 山内人権・男女共生課長代理 豊川いのち・愛・ゆめセンター：田嶋館長</p> <p style="text-align: right;">(5人)</p>										
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 / <input type="checkbox"/> 非公開										
主な議題	<p>(1) いのち・愛・ゆめセンターのあり方検討部会からの報告について</p> <p>(2) (仮称) 第2次茨木市人権施策推進計画について</p> <p>(3) その他</p>										
配布資料	添付のとおり										

(順不同、敬称略)

発言者	内 容
事務局	<p>開会</p> <p>本日はお忙しいなかご参加いただき感謝する。ただ今から、平成28年度第3回茨木市人権尊重のまちづくり審議会を開催させていただく。</p> <p>本日の出席委員は10人、欠席委員は2人である。この後の議事進行については、審議会規則第5条第1項により、会長に議長を務めていただくことになっている。会長よろしく願います。</p>
会長	傍聴者はいるか。
事務局	傍聴はない。
	<p>1 いのち・愛・ゆめセンターのあり方検討部会からの報告について</p>
会長	それでは議事に入る。いのち・愛ゆめセンターあり方検討部会について、これまで13回にわたってご審議いただいた内容について報告いただきたい。
事務局	【資料「(仮称)いのち・愛・ゆめセンターのあり方について」(答申素案)策定経過に基づいて説明】
事務局	続いて部会長である副会長から答申の素案について説明いただきたい。
副会長	あり方検討部会として最終報告をさせていただきます。
	【資料「(仮称)いのち・愛・ゆめセンターのあり方について(答申素案)」に基づいて説明】
副会長	<p>本日の検討部会では字句の修正を行うとともに、13ページのあり方検討の視点と経緯についてと、14～15ページの提言とを併せて多くの方に伝えるための別紙のレジユメを作成することになっている。他には前回審議会での報告のとおりである。13回にわたり委員の皆様には熱心なご議論をいただき、現地視察や先進地視察、識者の意見聴取もあり、各センターの地域の方、職員の方の協力も頂き有意義な議論ができたと思う。これを持って最終報告としたい。</p>
会長	事務局・部会長よりまとめの報告をいただいた。ご質問、ご意見あれば

発言者	内 容
会長	<p>願います。非常によくまとめていただいたと思う。方向性や課題がきちんと位置付けられたもので、今後の出発点になるものと感じている。</p> <p>ご意見が特になければ、今回いただいた答申をわたしたちまちづくり審議会としての答申としたい。よろしいか。</p> <p>ご異議なしということで、部会の皆様には素晴らしいものを作成していただき感謝したい。</p>
	<p style="text-align: center;">2 (仮称) 第2次茨木市人権施策推進計画について</p>
会長	<p>続いて、第2次茨木市人権施策推進計画について事務局よりご説明いただきたい。</p>
事務局	<p>1月20日から2月19日にかけてパブリック・コメントを行った。そこでの意見等を踏まえて修正した部分について説明する。</p>
事務局	<p>【資料「提出された意見及び市の考え方（案）」、「（仮称）第2次茨木市人権施策推進計画（案）」に基づき説明】</p>
会長	<p>意見を踏まえた変更についてご説明をいただいた。何かご意見・ご質問があれば願います。</p> <p>たくさん意見が来ていて驚いた。市民の皆さんの関心が高いと思う。修正についてのご意見等あれば願います。</p>
全委員	<p>(意見なし)</p>
会長	<p>それでは、お手元の修正後の案について問題なければ、計画案として市長に答申を行いたい。よろしいか。</p> <p>それでは異議なしということでそのように進めたい。</p> <p>続いて議題4その他について、何かあれば願いたい。事務局からはいかがか。</p>
事務局	<p>市長への答申についてだが、本来ならこの場に市長が来てということになるところであるが、委員の皆様には申し訳ないが別の日程で設定させていただきたい。</p>
委員	<p>会長に一任するという形で願いたい。私は特にあり方検討部会で議論してきたが、部会長と部会員でまとめたものであるが、いのち・愛・</p>

発言者	内 容
会長	<p>ゆめセンターのあり方について議会でも市でもどうするかという議論があり、課題が投げかけられた上でのあり方検討であったため、答申内容の実現に向けてご尽力いただきたいということも含めて会長にご一任したい。</p> <p>副会長とともに市長への答申にあたって申し上げたいと思う。他にないか。それでは本日をもって審議会は終了となる。私からも御礼申し上げる。茨木市においては本審議会の答申を行政としてしっかり受け止めていただき、尊重していただくことで、第2次推進計画の策定といのち・愛・ゆめセンターのあり方について、これらに基づく施策の推進をくれぐれもよろしくお願いしたい。書かれたもので終わりではなく、今後これに命をかよわせる施策を行政として進めていただきたい。市民の皆さまとも協働して愛センターを中心に多様な学びの場や人権の啓発について、部落差別解消法という新しい法律もできており、そういったことが進むことでより豊かな茨木市になることを祈っている。委員の皆様には長い間ありがとうございました。それぞれのお立場でのご活躍を祈念したい。最後に一言ずつ委員の皆様にはいただきたい。</p>
委員	<p>市民の一人として参加させていただいた。今回はいのち・愛・ゆめセンターの検討部会にも参加させていただき、今まで流していた人権というのが、少し頭の底に沈んで落ち着いた形で考えられるようになったかなと感じている。できるだけ日常の生活・活動の中で活かせる人権をめざしていければと思っている。</p>
委員	<p>もともと学校の教師をやっており、学校の人権の取組は現役時代からある程度理解していたが、その後人権協などで広く人権啓発をどう進めていくかは難しい問題である。なかなかすべてを網羅することができない。学校や企業は枠があるが、28万の茨木市民を対象というのは難しいものがあるが、人権尊重のまちづくりを行政としても進めていくということで、ともにやっていくことをがんばっていきたいと思う。</p>
委員	<p>身体障害者の会から参加している。あまり話すことは好きではないが、いま不平等という感じを受けるかどうかは人によるが、我々はそれを感じることがたまにあるので、そういったことも考えていただければと思う。</p>
委員	<p>愛センターのあり方検討をみていると、大変な勉強をされたのだと思う。現職の時に青少年センターの献立作成に関わっていたが、その頃も職員の方が青少年センターのいろんな問題、例えばセンターでは食事が提供できるが、市全体を考えた時にはどうなのかということなどを常に考えていた。今、</p>

発言者	内 容
委員	<p>子どもの虐待や子ども食堂のような動きも含め、いろんな問題がまだまだあると痛感した。</p> <p>人権擁護委員を長年させていただいている。ただ来て座っているだけだと思っていたが、いつも思うのは、茨木市はどうかということである。子どもの貧困がずいぶん問題になっており、そういう貧困が茨木市にもあるのだろうかとなっている。それから私が学校に努めていた時に担任していた子供が、ずっと家の中でおり、どうにかして家から外に出してやりたいと知的障がい者のガイドヘルパーの資格を取って家を訪ねたのだが、父親は自分がするから不要だと言って断られた。お隣の人は昼間非常にうるさくて引っ越したという話も聞いた。どのようにすれば幸せに暮らせるか、何か力になれないかということを感じた。そういう個人的なところからすすめて行かなければならないと思う。きちんとした食生活が大切である。食が満たされることが一番大事だと思っている。きちんと食べられない家庭が茨木市にないのかどうか、把握されているのかと感じている。</p>
委員	<p>幼稚園の保護者として市のPTAに関わることになり、こちらに来させていただいている。人権に関しては詳しくはないが、こうして取り組んでいただくことの重要性や、身の回りでも親がいなくて施設に預けられている子、施設の近くには住みたくないという話をほかの母親がしているのを聞くと、子どもは幼稚園で人を大事にする教育を受けているが、親世代が学ぶ場がない、セミナーなども自分から参加しようとは思わないと思うので、そういう親世代の人権に関する意識を変えていくのが大事だと思う。子どもは親の言うことを聞いているので、せっかく学校で学んでも親が違うことを言うてしまう。そういう親世代の学びが大事だと感じた。</p>
委員	<p>大阪府人権協会で府全体の人権の取組みを推進することに関わっているが、茨木市に関わる中で、意識調査、推進計画、愛センターのあり方について考えてきた。茨木市の実情や課題について私は非常に勉強させていただいたと思う。今までの感想をお聞きしても、このまちで、この地域で人権を実現しよう、人権について引っかかりがあることをどう実現するかについて、それぞれの方が取り組んでおられる、地域に根ざした強さを感じ、その大切さをつくづく感じた。計画は何をするかを書いているものだが、地域の中での人間関係の間で生かしていく、実現していくことはその人の力だと感じる。審議会で話したことを地域で実現されることから学ばせていただきたいし、実現されるよう取り組んでいきたいと思う。</p>
委員	<p>茨木市自治会連合会から参加している。審議会と愛センターの検討部会</p>

発言者	内 容
	<p>に参加させていただき、色々と勉強させていただいた。先生、各委員の皆さん、行政の皆さんにも大変お世話になり、立派な計画をまとめていただいた。今後進めようと考えていることだが、一つにパブリック・コメントについてこれだけの関心を示していただいていることに勇気づけられた。違う切り口では注意しなければならないと感じた。市民の熱い思いを受けて、また今の各委員の皆さんのご発言も踏まえて地域活動を進めていかねばと思った。自治会連合会の会長にも報告しなければならないし、自治会関連の市民協働推進課の職員の方にも、人権を大事にしたまちづくり、地域活動についてご相談することになっている。そういう話をしながら、市民協働推進だけではなく、人権・男女共生課も一体となって、また危機管理の部署も一緒に地域連合自治会長に指導・話し合いの場を作るということで、平成29年度には場を設けていただいている。そういう中でも今後人権尊重によるまちづくりについて、学ばせていただいたことを具体化することが必要だと思っている。私一人では意気込んでもどうにもならないので、自治会連合会の中で事務局と一緒に具現化していきたいと思う。</p>
副会長	<p>人権・福祉・地域社会・法律などが目まぐるしく変動していくことを実感しながらのあり方検討であったし、地域の方の思いや事務局、各センターの職員のかたの思いやコンサルタントの協力も頂きながら、勉強をさせていただいた。力不足な部会長であったので、まとめに十分力になれなかったかもしれないが様々な議論ができたと思う。人権というのは一人ひとりの物語で、相談事例の中では一人ひとりのお話しをお聞きし、そういう一人ひとりの物語が見えてくるような検討部会だったと思う。そこに市長の物語もきちんと重ねていただけるように、実現に取り組んでいただきたいということを伝えたいと思っているし、私自身も実現に向けて事務局とご相談しながら見守っていききたいと思っている。これからもよろしく願います。</p>
会長	<p>今日皆さんのご意見を頂戴し、この熱い思い、委員からきちんと市長に伝えるようにというご意見も頂き、きちんと努めたいと考えている。それでは来年度以降の審議会について事務局よりご説明いただきたい。</p>
事務局	<p>来年度の日程は未定である。別途会長に日程調整させていただき、ご案内をさせていただきたい。</p>
会長	<p>それではこれを持ってすべての議事が終了した。これにて閉会とさせていただきます。</p> <p>閉会</p>